

ここだけは押さえておきたい！各種マップの使い方

マップの入手方法

①安心安全課の窓口 ②町ホームページ(各自で印刷)
HP <https://www.town.kanie.aichi.jp/site/hazardmap/>



台風や大雨用 マップ

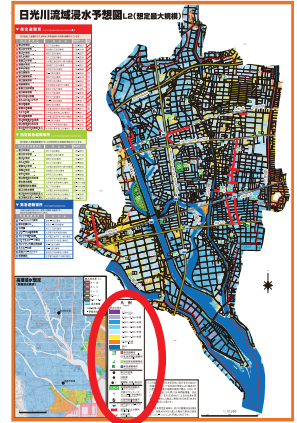
100年に一度の大雨※1と1000年に一度の大雨※2を想定した洪水ハザードマップの集大成



台風や豪雨による大雨の災害時に、各河川が氾濫した場合の予想図が掲載してあります。それぞれの河川ごとの浸水想定を確認し、**被害想定に対する避難先をあらかじめ考えておいてください。**

中でも、日光川流域浸水予想図 L 2 (想定最大規模) は日光川水系(日光川、蟹江川、福田川)が氾濫した場合の町域被害の最大の想定です。**凡例の色とマップの色から、自宅や職場などの浸水の深さを確認してください。**

- ※1 L 1 (計画規模) = 100年に一度の大雨
- ※2 L 2 (想定最大規模) = 1000年に一度の大雨



地震用マップ

南海トラフ地震の理論上で考える最大被害想定を掲載した地震特化型ハザードマップ

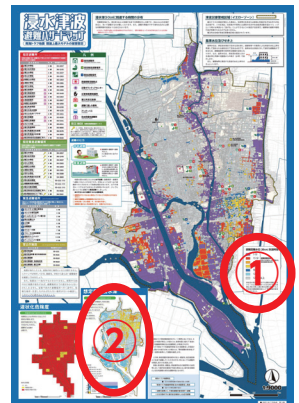


地震発生後から30cmの高さまで浸水するまでの時間が示してあります。**30cmまで浸水すると歩いて避難するのが困難になります。**

①自宅などが30cm浸水するのに何分かかるのかを、マップの色と避難困難水位(30cm)到達時間の色を比較して確認。30分以内に30cmを超える地域は、避難が困難であるため、**自宅などの屋内で安全を確保する必要がある。避難が可能な方は、付近の避難場所などへ移動。**

②12時間後の浸水深を確認し、屋内安全確保が可能かどうか判断する。**困難な方は付近の避難場所などへ移動。**

※津波は、地震後約90分後に海拔30cmの高さで到達すると想定されています。



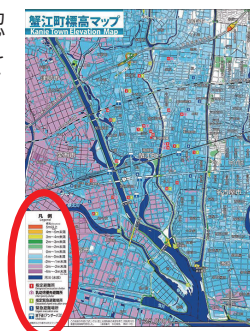
※このマップは、堤防などが破壊されて川の水が流れ込むことによる浸水被害を示しています。

防災用マップ

各種マップと防災に役立つ情報の両方掲載した総合型マップ



標高マップの凡例から自宅や職場などの場所が標高何メートルにあり、どこに避難するのかを確認してください。



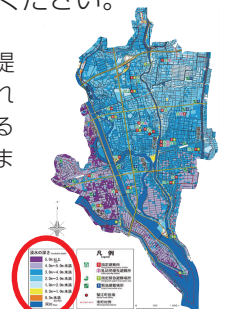
高潮用マップ

想定される最大規模の台風による高潮浸水シミュレーションマップ



自宅や職場などの場所の浸水の深さを確認してください。

※このマップは、堤防などが破壊された際に想定される被害を示しています。



※高潮とは、台風や低気圧などに伴って海面が上昇する現象です。台風が近づくときは特に注意が必要です。